



第22回日本肝臓学会大会 (JDDW 2018)

前川 伸哉

山梨大学医学部第一内科講師

はじめに

2018年11月1日～4日にJDDW 2018 神戸が開催され、第60回日本消化器病学会大会、第96回日本消化器内視鏡学会総会、第22回日本肝臓学会大会、第16回日本消化器外科学会大会、第56回日本消化器がん検診学会大会の5学会が参加しました(写真1, 写真2)。このなかで肝臓学会大会は本学(山梨大学)の榎本信幸教授が大会長として、筆者も事務局として参加させていただきました。

JDDWの参加者はこれまで開かれたなかで過去最大の22,218名を記録しました。大会期間中幸い好天にも恵まれたこともあります。魅力ある学会が開けるように努力された関係者皆様の賜物であったと思います。

肝臓学会のテーマ「肝臓病学の諸問題」

今回の本学会に大会長が選んだテーマが上記「肝臓病学の諸問題」です。一見するとやや地味目ですが、実は

このテーマには歴史的背景がありました。100年前にドイツの著名な数学者ヒルベルトがパリの国際数学者会議で「数学の諸問題」というタイトルで特別講演を行い、当時の10個の数学の未解決問題を提示したところ、それが若い学会員の奮起を促して、この100年の数学の世界の発展の礎となる重要なテーマになったという話があります。今回のテーマは上記に由来しており、主題セッション数もちょうど10個で、肝臓病学各分野における未解決問題を特に若い肝臓学会員に認識してもらうことが狙いでした。現在の問題点をはっきりと認識することにより、解決すべき道筋が作られ、それが次の世代の肝臓病学の発展につながることになるのではないかとこの大会長の想いが込められたテーマとなっていました。はたして想いが通じたかどうか。



写真1 会場の神戸コンベンションセンター
写真は神戸国際会議場。



写真2 開会式
各学会長。第22回日本肝臓学会 榎本信幸会長は写真右端。